

広聴活動で得た市民からの意見の対応状況 (1)

1 広聴会の開催状況

- ・日 時 令和7年7月15日(火) 午後1時30分
- ・参加団体 春日市文化協会
- ・開催場所 ふれあい文化センター

2 広聴会でいただいた御意見及び対応状況

意見の内容	判定 ※1	その後の対応状況
1 あんどん祭りの市民ステージについて 予算の関係で中止となった『あんどん祭り』の市民ステージを、市民や団体の文化交流を再生させるために復活させたい。	B	開催の要望があることを伝えました。市民祭り振興会で協議を行い、予算面だけでなく、過去からのこどもイベント開催の要望を実現するため、市民ステージを中止し、縁日イベントを開催したこと、必要に応じて祭り振興会正副会長会議の際に、構成団体である文化協会からも改めて発議いただくことを、市から文化協会会長に伝えているとの回答を得ました。
2 学校教育と文化継承の課題について 中学の文化活動減少や指導者の高齢化が進む中、地域の芸能や技術を次世代へ継承する仕組みづくりが急務である。	A	
3 やよいバスの運行時間延長について 21時以降に終了する文化サークル利用者のため、車を持たない人の利便性を確保できるよう、最終便の増便(21:00以降)を希望する。	B	夜間運行延長のご要望につきまして、お気持ちは十分に理解しておりますが、以下の3点の理由から現状では極めて困難です。 深刻な運転手不足と労働規制(2024年問題) 法的な労働条件の厳格化により、現状の運行体制を維持しつつ運行時間の延長の場合、新たに10名の運転手を追加確保しなければならない状況です。 事業費(コスト)の大幅な増加 人件費高騰により、現状維持でも令和8年度の事業費は1.3億円です。運転手の追加を実現するためには事業費を2.3億円へ倍増しなければなりません。 本来の役割と夜間ニーズの低迷 コミュニティバスは昼間の生活支援が主な目的です。実際のデータでも夕方以降は利用者が急減しており、夜間の乗車率は極めて低くなっています。
4 三者間での定期協議の場づくりについて 現場の声を反映させるため、市・指定管理者(ケイミックス)・文化協会の三者による定期的な意見交換(協議)の場の創出を提案する。	B	協議の場を設けるよう要望があったことを伝えました。市からは、必要に応じて協議の場を設けていくとの回答を得ました。
5 文化センターのWi-Fi整備とPR活動の強化について 若年層の取り込みに向けたSNS活用やPRを推進するため、活動拠点となる文化センターへのWi-Fi完備など通信環境の充実を希望する。	B	設備充実の要望があったことを伝えました。現時点で整備予定はないですが、他施設の状況と併せて研究を進めること、及びルーターを貸し出していることを確認しました。
6 ふれあい文化センター使用料の減免基準の見直しについて 30年間変わっていない『入場料1,000円未満』という減免基準を、端数の出ない『1,000円以下』への変更や、物価・人件費高騰に合わせた基準額そのものの引き上げなど、実情に即した改定を要望する。	B	減免基準の変更の要望があったことを伝えました。物価高騰等の社会情勢を踏まえ、現行の加算使用料を含めた施設使用料の改定について、今後検討を進めていく方針であることを確認しました。
7 サンホール利用時の控室無料化について サンホール利用時、楽屋以外の控室として使用する諸室についても、スプリングホールと同様に一定数(1~2部屋)を無料とするなど、利用者の負担軽減を検討していただきたい。	B	利用者の負担軽減の要望があったことを伝えました。市からは、現在の規則の範囲内での運用に理解を求められたため、今後の課題として注視していきます。

広聴活動で得た市民からの意見の対応状況 (1)

意見の内容	判定 ※1	その後の対応状況
8 譜面台の品質改善および設備充当について 有料化したにもかかわらず譜面台の質と管理状態が悪いため、他施設を参考に、良質なものを5~10台導入すべきである。	B	備品の更新の要望があったことを伝えたと、令和7年度中に更新済であることが確認できました。
9 館内のバリアフリー化および移動負担の軽減について エレベーターが新館の1基のみで旧館にないため、高齢者等の移動負担が非常に大きい。利便性向上のため、設置箇所の増設等の改善を求める。	A	
10 着ぐるみの素材および機能改善について 「かすがくん・あすかちゃん」の着ぐるみは重く可動域が狭いため、介助が必要で利用しづらい。市民がより手軽かつ安全に活用できるように、軽量で動きやすい素材への更新を求める。	A	
11 学習室4の壁面修繕および備品の更新について 学習室4の壁面の汚れや、30年以上経過した重い旧式机・椅子の老朽化が顕著である。他施設のリサイクル品活用も視野に入れ、高齢社会に対応した軽量で使い勝手の良い備品への更新を求める。	B	環境改善の要望があったことを伝えました。壁の清掃については対応を検討中であり、机・椅子については順次新しいものへの更新を進めていることを確認しました。
12 ロビーへの休憩用椅子の設置について ロビーに椅子がないため、待ち合わせや休憩時に不便が生じている。高齢化社会への対応として、誰もが快適に滞在できるように、椅子の設置による利便性の向上を求める。	B	設置の要望があったことを伝えました。指定管理者と対応を検討するとともに、館内の既存の椅子（ふれあいプラザ等）も活用いただけるよう案内を得ました。
13 旧館女性用トイレの設備改修および利便性向上について 旧館女性用トイレにおいて、温水洗浄便座の未設置や、洋式化に伴うスペースの不足、和式便器への手すり欠如など、不便な状況にある。利用者、特に高齢者が安心して快適に使用できるように、設備の拡充と改善を求める。	B	改修の要望があったことを伝えました。ウォシュレットは順次設置中で、和式トイレの手すりやトイレ全体の改修は今後検討していく方針であることを確認しました。
14 中央部市民活動交流拠点設置に伴う交通対策および駐車場確保について 令和11年の共用開始に向け、近隣の渋滞悪化と駐車場不足が強く危惧される。円滑な施設運営と地域住民の生活環境維持のため、現在の検討状況の開示および実効性のある対策を求める。	A	

※1 判定（検討会議の協議結果）

- A：議会への要望として受け止める（対応終了）
- B：市への要望事項として処理する（執行部へ報告する）
- C：議会運営上の課題として取り組む（議会運営委員会で対応）
- D：議会としての検討課題とする（常任委員会で調査研究を行う）

広聴活動で得た市民からの意見の対応状況（2）

1 広聴会の開催状況

- ・日 時 令和7年7月17日（木） 午後6時00分
- ・参加団体 春日市スポーツ協会
- ・開催場所 春日市総合スポーツセンター

2 広聴会でいただいた御意見及び対応状況

意見の内容	判定 ※1	その後の対応状況
1 協会の組織現状について 設立50周年を迎え、会員3,000名体制。競技スポーツが主 中には全国大会に出場する種目もある。	A	
2 運営予算について 会員からの会費および市からの補助金（500万円）で運営。 会費は子ども年間600円、大人1,200円であり、収益を生む組 織ではない。	A	
3 運営負担の適正化について 市職員並みの業務量に対し、会費と補助金のみでは運営が苦 しい。他市より会費が高いとの指摘もある。時間外労働など は市側で担うべき。	B	<p>こども文教委員会として、執行部から協会の現状と今後の方針の 説明を受けた後、委員間討議を行いました。県民スポーツ大会な ど、市から協会への委託事業については、必要な人件費など業務 の状況を確認し、令和8年度当初予算案として必要な予算額が計上 されていること。協会の運営については、会員の皆様の協力も必 要と考えられること。スポーツ協会の事務の効率化などを継続し ていくこと。指定管理者と連携して他の方法を模索することなど を踏まえ、今後については、行政の支援に加え、協会の主体的な 取組も必要であるとの判断に至りました。今後も協会の皆様の意 見を真摯に受け止めながら、物価高騰など、社会情勢を鑑み、委 員会として注視していきます。</p>
4 事務局の運営体制と人件費について 職員3名と、ほぼボランティアのメンバーで業務を担ってい る。会長の役職費は年額25,000円であり公募しても応募がな い。	B	<p>こども文教委員会として、執行部から協会の現状と今後の方針の 説明を受けた後、委員間討議を行いました。県民スポーツ大会な ど、市から協会への委託事業については、必要な人件費など業務 の状況を確認し、令和8年度当初予算案として必要な予算額が計上 されていること。協会の運営については、会員の皆様の協力も必 要と考えられること。スポーツ協会の事務の効率化などを継続し ていくこと。指定管理者と連携して他の方法を模索することなど を踏まえ、今後については、行政の支援に加え、協会の主体的な 取組も必要であるとの判断に至りました。今後も協会の皆様の意 見を真摯に受け止めながら、物価高騰など、社会情勢を鑑み、委 員会として注視していきます。</p>
5 学校施設等の利用拡大について 施設が十分ではない。色々な施設や学校施設の利用も再度検 討してほしい。	A	
6 残業代不足とボランティア頼みの運営実態について 予算不足で残業代が確保できず、実際には職員がボランティ アで残業をしている。市は現行予算で十分と考えているかも しれないが、実態は職員のボランティアによって運営が成り 立っている現状を理解してほしい。	B	<p>こども文教委員会として、執行部から協会の現状と今後の方針の 説明を受けた後、委員間討議を行いました。県民スポーツ大会な ど、市から協会への委託事業については、必要な人件費など業務 の状況を確認し、令和8年度当初予算案として必要な予算額が計上 されていること。協会の運営については、会員の皆様の協力も必 要と考えられること。スポーツ協会の事務の効率化などを継続し ていくこと。指定管理者と連携して他の方法を模索することなど を踏まえ、今後については、行政の支援に加え、協会の主体的な 取組も必要であるとの判断に至りました。今後も協会の皆様の意 見を真摯に受け止めながら、物価高騰など、社会情勢を鑑み、委 員会として注視していきます。</p>

広聴活動で得た市民からの意見の対応状況（2）

意見の内容	判定 ※1	その後の対応状況
7 小中学校体育館への空調設備設置について バレーボール大会開催時、小学校の体育館に空調がなく極めて高温な状態にある。一部の小学校では扇風機で対応しているが、近隣市（大野城市）では整備が進んでいる。春日市も空調整備を進めてほしい。	A	
8 春日東中学校体育館の建て替えに伴う空調設備整備について 春日東中学校の体育館建て替えにおいて、将来的な空調設置を見据え、設計段階から設備対応が可能となるよう検討を求める。	A	
9 スポーツセンター体育館の安全対策について 階段手すりの鉄の露出が応急措置のままであり、メインアリーナ観覧席には落下の危険がある。事故が起こる前に、透明アクリル板の設置など、他の工事と併せて早期の安全対策を求める。	B	設置の要望があったことを伝えました。安全のため階段の手すりは設置済みであること、最前列は着座による観戦の徹底を継続して依頼していることを確認しました。
10 サッカーゴールのアルミ製への更新について 現在使用中の鉄製・四角格子のゴールを、大会で使用される丸形のアルミ製へ更新してほしい。	B	備品更新の要望があったことを伝えました。スポーツセンターや有料公園施設は導入済みであること、小学校では安全上固定されていますが、老朽化による更新の際、丸形へ入れ替える予定であることを確認しました。
11 食料品物価高騰（お米不足・価格高騰等）に関する支援について 春日市においても支援や対策を講じてほしい。	A	
12 スポーツセンター地下倉庫の環境改善について 地下倉庫は駐車場からの排気ガスによる煤（すす）と湿気がひどく、コピー用紙が使用不能になるため、現状はレンタルロッカーで代用している。何らかの改善策を講じてほしい。	B	環境改善の要望があったことを伝えました。倉庫は備品用ですが、湿気に弱い紙類等の保管方法については、スポーツ協会事務局内で改めて協議いただくよう案内されました。
13 施設改修に伴う情報提供の早期化について 体育館の床面工事により年間行事をすべて中止せざるを得なくなった。早く情報提供があればスムーズな対応ができたのではないかと。	A	
14 カローリング大会時の混雑緩和と安全確保について カローリング大会の会場移動の際、階段が狭く混雑が発生した。	A	
15 あんどん祭りおよび学校体育館のトイレ洋式化について あんどん祭りの際、トイレが和式で使いづらいとの苦情が寄せられた。また、小中学校体育館のトイレについても洋式化してほしい。	A	

※1 判定（検討会議の協議結果）

- A：議会への要望として受け止める（対応終了）
- B：市への要望事項として処理する（執行部へ報告する）
- C：議会運営上の課題として取り組む（議会運営委員会で対応）
- D：議会としての検討課題とする（常任委員会で調査研究を行う）